（南信州地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	有害鳥獣駆除で捕獲した鳥獣の未利用部位の有効活用事業
事業主体 （連絡先）	阿智村 長野県下伊那郡阿智村駒場 483
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大（ウ 森林づくりと林業の振興）
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,806,757 円（うち支援金：1,367,000 円）

事 業 内 容

新設したジビエ加工処理施設において、低利用部位を用いたペットフード（鹿肉ジャーキー、鹿肉ふりかけ）を開発し、販路を拡大することにより、雇用を生み出すこと。

その事業のなかで、地域住民へジビエ啓蒙啓発活動を行い、地域住民が、積極的にジビエの捕獲や消費に関わることで実現する持続可能な循環型社会を目指していく。



【ジビエ啓蒙活動の様子】

事 業 効 果

ジビエ啓蒙啓発活動
・阿智祭（商工祭）参加者数：延べ 100 名
・阿智高校（地域政策コース 2 年生）　参加者数：4 名
・至学館大学（1 回生）参加者：3 名
村内捕獲従事者の捕獲数の増に繋げる仕組みの策定

阿智村から鹿の捕獲者へ捕獲報償費が支払われるのは令和 7 年度までは、阿智村の鹿に対する有害捕獲許可期間 2 月 16 日から 11 月 14 日までの期間となっていたところを令和８年度から一年を通しての有害捕獲許可の期間として野生鳥獣の被害減とジビエ加工施設への受け入れによりジビエ振興を進めることとなった。

【目標・ねらい】

①ペット用鹿肉ジャーキーの
　商品化
②ジビエ啓蒙啓発活動
③有害鳥獣捕獲数の増に繋げる
　仕組みの策定

※自己評価【B】

【理由】
鹿肉ジャーキーの商品化は達成したが、小売りを実現するまでには至らなかった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。（今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など）。

今後は、ペットフード用鹿肉ジャーキー、鹿肉ふりかけなどの商品の小売りを実現して外貨獲得と地産地消を図り、売り上げを確保することで雇用を生み出せるよう販路を開拓していきたい。実現後は、村内の希望する消費者には訪問販売を実施し、その際には周辺住民の高齢者の見守り活動を行うことで、地域に貢献することを目指したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある